

欠席のお詫びと意見

2007年11月13日 坂本 衛

1 欠席のお詫び

第5回長野県本人確認情報保護審議会が、あらかじめ出席できないと回答した9月19日に開催されたため、最終回である第6回にはなんとしても出席するつもりでしたが、どうしても動かせない講演会の日程と重なってしまい、誠に残念ながら出席できません。

長野県の関係者のみなさん、また審議会委員のみなさんには誠に申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。

ただし、東京でしばしば開かれている審議会の打ち合わせには参加しており、今回の審議会に提出される「上伊那情報センター訪問報告書」も担当分を執筆したほか、全体をチェックし必要な意見を述べています。

ここでは、それと重ならないように、長野県の本人確認情報保護についての坂本の意見を書かせていただき、第6回審議会に提出いたします。

審議会の席上、配布していただくなり、委員長に読み上げていただくなりして、議事録末尾にでも記録をとどめていただければ幸いです。

2 坂本の意見

(1) 上伊那情報センター視察結果について

2006年2月の当審議会でも報告した通り、県内市町村の現地調査やアンケート調査で浮かび上がった大きな問題は、規模や性格が異なる自治体に一律に住基ネットを実施するという矛盾だった。

この矛盾をなるべく小さくとどめるために、住基ネットの効果が小さいわりには資金的・人的な負担が過剰となっている小規模市町村が集まって情報センターを作り、住基ネットを運用するという方向性そのものは、間違っていない。むしろ、その可能性はもっと検討されてしかるべきだろう。

上伊那情報センターについての個別の問題は報告書に委ねるが、どんな場合でも一般的について回るといってよい問題は外部委託（アウトソーシング）に関わる問題である。

なかでも外部委託先の技量、外部委託したときの責任の所在、外部委託することによって内部における情報の扱いが習熟しない問題などは、官や民、組織の大小を問わずどこでも発生する問題であり、つねにチェックしていく必要がある。

(2) 住基ネットの県事務利用に係る安全対策について

これについては、情報技術に詳しい委員が中心になってまとめたセキュリティ面に関するコメントに付け加える点はあまりないが、一般論として三つほど指摘しておきたい。

(イ) 情報セキュリティについて先進的な企業では、写真機能付き携帯電話は一切社内持ち込み禁止、私的なノートパソコンは一切社内持ち込み禁止といった方法を採用し、情報漏洩対策を徹底している。情報漏洩につながるツールの持ち込みを認めておいて、その使い方やインストールするソフトウェアなどについて細かい注意を出すよりは、ツールの持ち込みそのものを禁止したほうが、確実であり簡便であるという考え方だ。これが理想に近い対策であることは間違いなく、可能な分野から、このやり方に学ぶことは、たいへん有益であると思う。

(ロ) また、そもそも情報セキュリティに専門的な知識を持たない職員に、マニュアル遵守やセミナー開催でセキュリティ意識を高めていくためには、マニュアルに曖昧な点があってはならない。「たとえばある書類を保存する」という言い方ではなく、「ある書類を作成から×年間、防火設備の整った保管庫で、常時鍵をかけて保存する」というように具体的でなければ、トラブルはなかなかなくなると思う。

(ハ) たとえば「パスワードの作り方」など誰にとっても身近で役立つテクニックは、何のためにそのようにし、具体的にどんなパスワードが「強く、よいパスワード」かを、理解してもらう必要がある。IT時代には常識のような話だからである。そのために県がホームページを作り、県内の自治体職員が参照すれば基本的な知識を得られるようにしておくといったことは、検討してもよいのではないかと思う。

(3) 旅券発給事務に係る権限移譲について

これについては、長野県内の一部市町村に権限移譲、事務委譲を求めているところがあると聞いている。地方自治の本旨からすれば、地元に住んでいる人びとに関する基本的な事務の問題は地元の市町村が担当するのが理想であり、また、当然効率もよくなるわけだから、権限委譲を望む市町村には、そのようにすればよいのではないかというのが、私の考えである。

県が、旅券発給事務を県の方針として進めること自体には、当審議会は異議をはさむ立場にないと思うが、市町村の独自性はできる限り尊重したほうがよいという意見は付け加えておきたい。

(4) おわりに

最後になったが、委員としての活動を支え、その意見に真摯に耳を傾けてくださった長野県の関係者のみなさん、また審議会委員のみなさんに、心から感謝の意を表したい。2回続けて欠席となったことはたいへん残念だが、県内市町村や情報センターの現地調査、アンケート調査などに参画して、必要な意見を述べることができ、長野県のためにいささかでもお役に立てたことには満足している。ありがとうございました。

以上